



研究部HP 版

第 10 版 教育研究部 令和3年1月発行

(文責:細井)

～強化子を用いて4～

1 今日も「○・△・□ このためにがんばっています」

付録DVDには、子どもに人気のあるキャラクターの作品がいくつか入っていました。作品の時間は、5～10分のもが多く、授業後の休み時間に用いるのにも最適でした。内容は、お話しや歌が中心で、それにひらがなやABC、数などを絡めたものも多く、子ども向けの教育ビデオ的内容となっています。



これを強化子として用いるにあたり、まずパッケージの絵を元にカードを作成しました。視聴方法は、DVDなのでDVDプレーヤーを使用するのが簡単なのですが、A君は自分のタブレット端末のビデオ機能を用いて動画を撮影し、視聴するのを好んでいることを知っていたので、DVDプレーヤーを使ってテレビで再生し同じようにタブレット端末のビデオ機能で撮影、それを視聴してもらうことにしました。準備が整ったところで、早速用いることにしました。A君への提示の仕方は、第8版の「2 トークン」で示したものと同じです。

最初はA君が見たいであろう動画のカードを推測し、「このためにがんばっています」と書かれたボードに貼って提示していましたが、徐々に動画数を増やしていき、ボードには「えらぶ」と書いてあるカードを貼り、A君に見たい動画のカードを選んでもらう形に変えていきました。

さて、付録DVD動画の強化子としての効果ですが、とても有効でした。結果、1年生の2月下旬から使い始めたこの強化子は、動画数を増やしながら卒業まで用いることになりました。A君が保護者に長い期間懇願していたものですから、A君の心を強く引きつける強化子となるのは当然なのかもしれません。

最初は時間のかからない課題から提示し、やり終えたら視聴できることから始め、徐々に時間のかかる課題へと移し、1時間の授業後に視聴できるようにしていきました。最大で午前中の授業4時間を終えたら視聴できるとしたこともありましたが、最終的には1時間もしくは2時間の授業を終えたら鑑賞できるようにしました。そうしたのは、1～2時間程度の活動時間で視聴できた方が、A君の取り組みに対するモチベーションを保つのに適切であることと、卒業後の進路先で継続して取り組む作業時間が60分程であることから、その時間集中して取り組めるようになればよいと思ったからです。

学校内での学習活動以外でも付録DVD動画の強化子は有効でした。A君は、初めて訪れる場所や経験のない活動に対して、すごく不安定になることが多い生徒でした。高等部では、修学旅行と現場実習が特に不安定になることが予測される活動でした。事前に行く場所や活動内容を伝えるこ

とはもちろんですが、活動の合間に強化子を視聴できることを普段使っているスケジュール表を用いて説明し、当日を迎えるようにしました。修学旅行・現場実習共に少し不安定になることはありましたが、活動が一切でなくなるような状態になることはなく、A君は最後まで活動に参加することができました。この時には、慣れない活動に頑張って取り組んでいることから、1時間に満たない活動内容であっても、区切りのいい場面で強化子を視聴できるようにしました。また、現場実習に際しては、受け入れ先に事前にA君のことについてご理解をいただき、実習中に強化子を使用することを許可していただきました。



2 有効であるが、100%ではない

付録DVD動画の強化子は有効ではあったものの、どんな時・場所・活動内容でもこれさえ用いれば大丈夫というわけではありませんでした。清掃や体育などの体を使う活動では、最初に用意したものではありませんでした。動画数を増やしていったのは、新たな動画を用意することで、強化子として再び機能させるためでした。それでも、なかなか掃除では機能しないことも多かったので、掃除をした時だけ見ることでできる動画も用意しました。そのようにしても、清掃や行事などでは強化子として機能しない時もありました。ただ、強化子を用いたことによって、落ち着いて活動に取り組める時間が、大きく増えたことは間違いありません。

今振り返ると、この動画での強化子に私自身がこだわり過ぎてしまったのではないかと考えています。有効であったがために、動画数を増やすことばかりに目がいきってしまいましたが、動画以外でA君にとって強化子となり得るものを探るべきではなかったかと思っています。様々な強化子を用意することで、A君自身も様々な姿を見せてくれたことでしょう。「強化子探しは永遠に続く」です。

「強化子」の話は今回で一区切りとし、次回からは「状況にそぐわない行動」「問題行動」をテーマにしていきたいと思います。【1月発行第11版に続く】